

# 今、漆喰が新しい！！

## のびのび 漆喰 しっくい

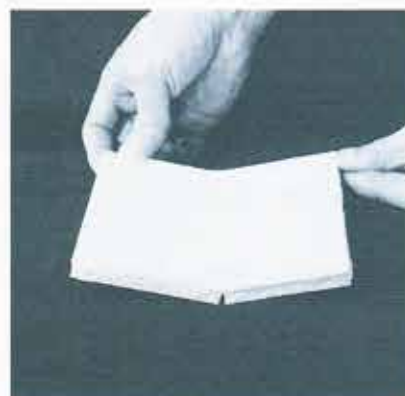
弾性高品位漆喰



仕上りの良さ



耐水性



柔軟性

### 特長

- ★下地の割れに強い
- ★接着力、防水性増大
- ★仕上がりの美しさ

### 荷姿

のびのび漆喰 11kg/袋

古くから日本建築の代表として長い間親しまれている漆喰工法は近年でも神社、土蔵、民家や塀などに仕上げ材として使用されています。

漆喰は時の経過とともに強度を増し、耐候性の優れている事も他の仕上げ材に類を見ません。しかし最大の弱点は硬さの為に割れ易いこと、又、水の浸透により下地から剝離し易い事などがありました。

これらの事は今迄仕方のないものと考えられていましたが、その問題を解決したのが新しい漆喰《のびのび漆喰》です。

《のびのび漆喰》は弾力性を有する為下地の小さなクラックにも追従し、コテを何回も使用することにより出来る小ひびを追放し、又、通気性を保ちながら吸水性が少ないという高品位の既調合漆喰です。

# 施工上の注意

## 気候の条件

気温5℃以下の寒冷期には白華や凍結のおそれがあります。  
又、雨の続く時期や強風の日などは、作業がしにくくなるとともに、仕上がり不良の原因にもつながりますので施工は避けて下さい。

## 下地の条件 ～シーラー処理～

下地が乾燥している時は水分の吸い込みが早いので作業がしにくくなるともにドライアウトの原因にもつながりますので、アクリル系のシーラーを塗布して下さい。  
モルタルの下地には水打ち不要の混和材を入れたモルタル等も簡単です。  
下地の汚れ、ほこり、浮き等は施工前に必ず取り除きシーラー処理をして下さい。  
下地にクラックが有る場合は、前日にのびのび漆喰をしごき塗りしてクラック補修して下さい。

## 厚塗り

一度に厚塗りをすると内部の乾燥不良となり、強度不足や仕上がり面の美しさに支障をきたす場合がありますので、薄塗りを重ねて仕上げして下さい。

## 砂漆喰

砂漆喰を作る場合は〈のびのび漆喰〉11kgに砂、珪砂、寒水1mm等を15～20kgの目安で混ぜて施工して下さい。

## 他の材料の混合

〈のびのび漆喰〉は最良の配合で均一に工場生産されていますので、他の石灰や糊等を混入しますとバランスがずれ仕上がり面や作業性に支障をきたすことがありますので避けて下さい。

## 仕上げ塗り

上塗り施工後、水引き具合をみながらまず金ゴテで押さえ、表面が締まった後にプラスチックゴテなどの軟らかいゴテを使用して行って下さい。  
従来の漆喰よりも仕上げ作業の時間が長く出来ますので作業が非常に楽です。

## その他の注意

- 使用した道具の水洗は早目に行ってください。
- チリ等の水刷毛は早目に行ってください。
- 0℃以下にならない所に保管して下さい。

## 使用方法

	配 合	水	塗り厚 及び 施工面積
砂 漆 喰	のびのび漆喰 11kg (寒水石等 1mmを 15kg～20kg)	約10%～ 約11%	約2 <sup>mm</sup> 厚 → 約10㎡ 練り上がり
			約4 <sup>mm</sup> 厚 → 約5㎡ 約22%
仕上げ塗り	のびのび漆喰 11kg		約1 <sup>mm</sup> 厚 → 約10㎡ 練り上がり 約13%

(販売) 駒形石灰工業 株式会社  
(製造) 株式会社 東京壁材

〒327-0525 栃木県佐野市あくど町4201  
TEL0283-85-2484 FAX0283-86-2851  
E-mail: info@komagata-inc.com  
URL: http://komagata-inc.com/